

3R92 荷重ブレーキ膝継手 空圧式

調整方法と手順 - 医療従事者用資料 -

【3R92荷重ブレーキ膝継手 空圧式とは】




荷重ブレーキ機能
空圧機構による遊脚相制御
34mm径チューブ

実長：215mm *本体下縁～上部接続アダプターが被る間の長さ
体重制限：125kg
最大屈曲角：135°
重さ：895g

【調整箇所】

荷重ブレーキの調整

	調整箇所	内容	工場出荷時の設定
	前面の調整ネジ (膝継手を屈曲し、ラベルの上のカバーをめくる)	荷重ブレーキ	適切な状態

遊脚相の調整

	調整箇所	内容	工場出荷時の設定
	「F」バルブ	屈曲抵抗	最小抵抗値
	「E」バルブ	伸展抵抗	最小抵抗値

1) 荷重ブレーキの調整：前面の調整ネジ



ブレーキの応答性は、個々の装着者に合わせて調整する必要がないよう、出荷時から設定がなされています。

しかし、必要に応じての微調整は可能です。

- ① 膝継手前方（オットーボックロゴの上）のカバーを外します。
- ② 6mm の六角レンチで回します。
ブレーキを利きにくくする : 時計回りに回す
ブレーキを利きやすくする : 反時計回りに回す

*** 必ず、十分なブレーキが利く範囲で調整を行ってください。**

2) 遊脚相の調整



最初に屈曲抵抗の調節を行って下さい。

- ① 過度に踵が跳ね上がり、歩行スピードに追従しない場合
→ 『F』ネジを+方向に回す

*** 空圧で制御しているため、多めに回すと違いが明確になり調整が容易です。**

*** ユーザーの普段の歩行スピードに合わせて最適な調整を行って下さい。**

- ② ターミナルインパクトが出る場合
→ 『E』ネジを+方向に回す。

*** 予めターミナルインパクトの防止機能は付属しています。ユーザーが気になる場合のみ調整を行って下さい。**

*** この際、ネジは少しずつ回します。
急激に抵抗を高めると、膝折れの危険性があります。**